

「岡大教職ナビ」では教職課程を履修しているすべての学生に役立つ情報を随時配信しています。ここでは配信した最新記事の一部を掲載しています。さらに詳しい情報や最新の情報はセンターホームページをご覧ください。

教員・講師等募集情報

- 学校法人博多学園博多高等学校常勤講師
- 京都学園中学高等学校教員
- 学校法人清和学園補助教諭、幼稚園教諭
- 米子北斗中学校・高等学校教員(国語)
- ぐんま国際アカデミー中・高等部教員(化学)
- 学校法人緑丘学園常勤講師等
- 行田市(埼玉県)教員
- 学校法人永島学園専任教員
- 愛光幼稚園舎幼稚園教諭
- 同志社女子中学校・高等学校教員(理科(物理))
- 学校法人西伊丹学園幼稚園教諭
- 学校法人鈴蘭台学園幼稚園教諭
- 学校法人田久保学園幼稚園教諭
- 学校法人宇部学園慶進高等学校非常勤講師、慶進中学校・高等学校教員等
- 学校法人朋和学園幼稚園教諭
- 学校法人作陽学園幼稚園教諭
- 京都教育大学附属学校園教員
- 岡山県作陽高等学校常勤講師等
- 山陽女子中学校・高等学校常勤講師等
- 鶴岡東高等学校教員
- 海城中学校・高等学校教員(社会科)
- 公益財団法人海外子女教育振興財団海外(主としてアジア)日本人学校教員
- 磐田市(静岡県)教員
- 成美学園教員

スクールボランティア募集情報

- 総社市学校支援ボランティア(総社市立山手小学校、総社市立昭和小学校、総社市教育委員会)
- 学校支援ボランティア(岡山県立岡山支援学校)
- 倉敷市「居場所」ボランティア(倉敷市教育委員会生涯学習課)
- 藤田地区学校支援ボランティア(岡山市教育委員会)
- 学校支援ボランティア依頼内容一覧(2013.9.10)(岡山市教育委員会生涯学習課)
- 保健室ボランティア募集について(岡山市立吉備小学校)

<教員採用試験受験記>平成25年度 岡山県 小学校

合格

教育学部障害児教育コース小学校専攻 高橋 美帆 さん

教員採用試験を終えて、一番に感じたことは、仲間と一緒に戦ったということです。毎日図書館で、採用試験の問題集とにらめっこしている仲間を見ると、「自分も頑張ろう」とはげまされました。1次試験が終わってからは、学科の仲間たちを中心に、模擬授業や討論の練習をしました。お互いにアドバイスあって本当に毎日が学びの連続でした。教探はしんどいこともたくさんあったけれど、終わってみると、とっても楽しかったと思います。そして、教職相談室の先生方には忙しい中、本当にお世話になりました。もっと早く教職相談室に行っておけばよかったと思います。先生方に褒められる度に、自分の成長がうれしく、「もっと頑張ろう」と思えるようになりました。これから教員採用試験を受けようとしているみなさんには、12月のできるだけ早い時期から利用されることをおすすめします。

教員リレー・エッセイ「魅力のある教職相談室」

教職支援部門 小川 潔 教授(特任)

教職相談室の仕事をしていただいて5年目になります。最初の4年間は松原先生といっしょに仕事をさせていただきました。松原先生からはたくさんの大切なことを教えていただきました。親身になって学生さんの相談に乗っておられる松原先生の姿や表情は、大学の先生というよりは正に「お父さん」といった雰囲気、松原先生の「いい先生になれよ」という熱い思いが学生さんの心にしっかりと伝わっていました。学生さんの中には、特別な相談の内容があるわけではないのに、「元気をもらいに来ました」「癒やされに来ました」と言って相談室のドアをノックされる人もたくさんいました。松原先生の温かく、そして厳しい指導で、平成20年度は2,770人だった利用者が平成24年度には3,896人に増加しました。

平成25年度から松原先生の後任として武藤先生が来てくださいました。私と武藤先生とは、附属小学校の国語部で同じ釜の飯を食べ苦楽を共にした仲間です。松原先生がおられなくなった後、武藤先生が来てくださったということをとっても心強くうれしく思いました。今、松原先生から教えていただいたことを武藤先生にお伝えしているところなのですが、私が4年かかって松原先生から学んだことを、武藤先生はたった半年で吸収され、更に自分なりの個性を生かした指導で成果を上げておられます。また、今年の7月からは、月曜日と金曜日の午後2時から5時まで、高等学校の現場を経験されている小林先生にも来ていただけるようになりました。お二人のお陰で7月の利用者が802人、8月の利用者が772人になりました。8月の利用が増えたのは夏季休暇中に開室した(p.2参照)ということもありますが、昨年と比較しますと7月は148人、8月は358人増えました。

これからも3人で力を合わせて、更に、「学生さんにとって魅力のある教職相談室」にしていきたいと考えています。



学生CST養成プログラム第4期生募集と 現職CST養成プログラム

TOPICS 今号の主な記事

- 【特集】学生CST養成プログラム第4期生募集と現職CST養成プログラム
- 【報告】第2回・第3回教師力養成講座
- 【報告】第4回教師力養成講座
- 【報告】教員免許取得説明会 in オープンキャンパス
- 【報告】教職相談室>>>充実に向けた取り組み
- 【報告】教職実践演習 開始!
- 【報告】母校訪問 実施
- 【報告】岡山県教育委員会との専門部会
- 【連載】教員採用試験のツボ その五「実習が終わったら教職相談室」
- 【連載】教員採用試験受験記:高橋 美帆 さん(教育学部)
- 【連載】<教員リレーエッセイ> 教職支援部門 小川 潔 教授(特任)
- 【掲示板】「岡大教職ナビ」最新情報
- 【掲示板】センターからのお知らせ

現職CST養成プログラムの講座は、学生向けの講座とは異なり、学校現場で日頃行っている理科の授業の問題点を改善したり、より効果的な授業にするための教材等の開発などを行っています。

教科書通りに実施しているつもりでも思ったような結果が得られない観察、実験や、実施した方がよいと分かっているにもかかわらず、時間的に、費用的に難しい観察、実験など、学校現場には様々な課題があります。それら一つ一つを受講者みんなで協議し、解決していくことは、学校現場の理科教育を活性化したり推進したりするために役立つものと考えています。

ここで、検討した指導法や教材等は、日々の実践の中での活用はもちろんですが、それぞれの地域や学校で行われる研修会の内容として用いられ、多くの先生方に関心をもっていただいたり、授業に役立てていただいたりしています。

多くの先生方が実践して下さることで、その指導法や教材がよりよいものに改善されたり、それらを中心として理科教育への関心が高められたりして、理科教育に貢献できると考えています。今後輩出される学生CSTも、その仲間の一員としての活躍が期待されます。

【文責:山崎光洋】

平成25年度第5・6・7回教師力養成講座のご案内

第5回「子どもにとって魅力のある学級」をどう創るか

- 日時 平成25年12月4日(水) 9:30~12:00
- 場所 教育学部本館 401教室
- 講師 赤磐市立山陽小学校 岸本勝義 先生

第6回「子どもにとって魅力のある授業」をどう創るか

- 日時 平成25年12月11日(水) 9:30~12:00
- 場所 教育学部本館 401教室
- 講師 岡山大学教育学部附属小学校 小野 桂 先生

第7回「子どもの問題行動」にどう対応したらよいか

- 日時 平成26年1月15日(水) 13:00~15:30
- 場所 教育学部講義棟 5102教室
- 講師 岡山市教育委員会 服部道明 先生

センター紀要(第4号)原稿募集のご案内

当センターでは、主に教師教育(教員養成教育、現職教育)及び教育実践をテーマとした実践的・理論的研究論文を、学内の先生方から広く公募します。

- 投稿申込締切:平成25年11月8日(金)
- 投稿申込先:専用オンラインフォームよりお申し込みください。
- 原稿提出締切:平成26年1月7日(火)必着

投稿内容や投稿資格などの詳細はセンターホームページでご確認ください。

<https://cted.okayama-u.ac.jp/bulletin/>

「いじめ・不登校」を考える～現状と背景～問題への対応～

いじめと不登校の背景には共通することが多くあります。第2～3回の講座では、いじめと不登校の問題を取り上げました。

心理・臨床学系安藤美華代准教授によるいじめと不登校の理解についての話に続いて、現状と背景について、御南中学校小野恭弘校長に講話をしていただきました。

学校、家庭、社会で受けるストレスの表れ方で、反社会的な行動の一つがいじめであり、非社会的な行動の一つが不登校です。だから、どの学校にでも起こりうる課題です。自分の個性を発揮する場がない子供は犠牲者です。教育者として子供に伝えることは、自己主張の仕方と責任です。

第3回の講座は、前回に引き続き小野校長に、「問題への対応」について講話をしていただきました。岡山の不登校出現率は高い状況にあり、大きな課題です。不登校には、それに至る予兆があり、回復に向かう変化もあります。また、いじめは、弱い者に向けてだけでなく一定の人間関係のある者の中でも起きています。意識的、集団的、長期的に行われると、いじめられる側の関係が絶たれ孤立してしまいます。そんな表面化しにくいいじめでも、予兆はあります。不登校もいじめも、子供にとっては重大事です。予兆を感じ取り、子供の気持ちに寄り添った対応ができる教師の感性が求められます。さらに、個々の教師の対応の背景には、学校としての明確な方針も必要です。

いじめや不登校への視野の広がりを感じる感想がアンケートに多く見られました。
(過去の講座のDVDは、教職相談室で視聴可能です) 【文責：武藤幹夫】



「保護者のクレーム」を考える



第4回講座では、「保護者のクレーム」を取り上げ、まず山根文男副センター長が、クレームの裏には、保護者の「学校や教師への期待」があることを話しました。

続いて、岡山市教育委員会指導課の服部道明先生に、「学校事故」「学校集金」等の事例をもとにしたグループ討議を組み込んだ講話をしていただきました。対応にあたっては、事実の確認、クレーム理由の把握、子供のよりよい育ち、学校としての方針などに留意することが大切です。

参加者は、講話をもとにグループ討議を経験し、意見交換の中で対応への方向性が見えてくることを実感したようです。

【文責：武藤幹夫】

教職実践演習 開始！



全学教職実践演習の第1回[10/1(火) I-II限]が教育学部本館401講義室で始まります。この科目についての概要は第1回と第2回のニュースレターでも説明しておりますが、今回は別の視点から触れたいと思います。

教師の仕事の特徴の一つに「複線性」があります。教師の仕事は授業を行うだけでなく、学級経営を行ったり、生徒指導を行ったり、校務分掌や部活動まで種類の違う仕事を同時に並行して行うことが度々あります。

今回の教職実践演習では「学習指導力の省察」「模擬授業演習」「現代的な教育課題の省察」のいずれの場面にも、教育実践力を表す4つの力『学習指導力』『生徒指導力』『コーディネート力』『マネジメント力』について、統合させそれぞれの力を発揮させることが期待されています。

来春に教壇に立つ方だけでなく、一般就職される方にとっても、「持っている免許」から「使える免許」に位置づけられるように、そして卒業研究と両立をさせながら意欲的に取り組み、自己の成長を感じる機会となるように期待しております。

【文責：樫田健志】

母校訪問 実施

今年度も200名を超える学生が母校訪問に参加しました。母校訪問を終えた学生は、母校訪問報告書の作成を行います。今回は、今年度母校訪問に取り組んだ学生の報告書における記述をいくつか挙げ、母校訪問実施の報告とさせていただきます。まず、授業観察についてです。報告書では、“生徒の反応などをよく見てペースを変えていた。”“教科書の内容だけではなく、新聞の切り抜きなど実際の例を用いて分かりやすく解説していたのが印象的だった。”のような記述が見られ、学生は授業観察を通して、先生方の授業の工夫について多くを学びとったことが窺えました。次に、恩師へのインタビューについてです。報告書からは、教師の仕事の魅力や大変さなどを聞いたり、先生方の教育観にふれ、教職への理解や思いを深めたりしたことが窺えました。このことは、“自分が教師という職業をしたくなったというのが、この母校訪問の最大の収穫だったと思う。”という記述にも表れていると感じました。中には、先生から“生徒に何を教えたいと思っているのか”と聞かれドキッとした学生もいたようですが、“それに自信をもって答えられる自分になりたい”という前向きな記述が添えられていました。このような貴重な経験をさせて下さった母校の先生方や関係者の皆様にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。報告書作成を終えた学生の皆さんは、この後、母校訪問事後指導があります。多くの学びを持ち帰った皆さんにお会いできるのを関係者一同楽しみにしています。 【文責：三島知剛】

岡山大学と岡山県教育委員会との専門部会が開催されました

岡山大学と岡山県教育委員会との連携協力会議専門部会が、7月5日(金)岡山大学教育学部本館第一会議室において開催され、本年度の連携事業等について、協議・意見交換を行いました。岡山県教育委員会からは、①教員養成に関する事項、②教員研修にかかる事項、③学校教育上の諸課題への対応に関する事項等、これまでの事業を継続実施することの説明及び総合教育センターの各種研修講座や県立高校の研究発表会への学生の積極的な参加の呼びかけ、初任者研修講座が3ヶ年計画に改善されたこと、岡山版中央研修講座が開設されることなどの説明がありました。

岡山大学からは、学校教員インターンシップ事業と学力向上支援事業について、県及び市において名称や制度等、調整・整理してほしい、加えて、受入側の学校の担当者の決定や指導体制の確立などの意見が出ました。また、「【COC】地(知)の拠点整備事業」の概要説明及びユネスコスクールへの協力要請、オンデマンド事業で取り組む「講師を対象にした研修会」の案内がありました。10月の合同連携協力会議へ向けて、有意義な専門部会となりました。 【文責：江木英二】



教員免許取得説明会 in オープンキャンパス



2013年8月9日・10日に「岡山大学オープンキャンパス」が開催され、文学部、工学部、環境理工学部にて教育職員を目指す方へ教員免許取得について説明・相談会を行いました。「教育学部とどちらがうの?」「教員採用試験対策はどのような?」など、自分の学ぶ専門教科を将来子供に教えたい。と、夢膨らませた高校生と出会うことができました。また、保護者の方からは、教職について個別に対応して下さるのありがたい。とお言葉をいただきました。

暑い中、ご参加いただいた高校生および保護者の方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。 【文責：熊澤知子】

教職相談室>>>充実に向けた取り組み

教職相談室の充実に向けて、本年度新たに実施した二つのことをご紹介します。

一つ目は、相談室のスタッフを3人に増やしたことです。これまで教職相談室は2人で担当していました。相談室の戸をたたいてくれる教育学部以外の学部学生の多くは、高校教師を目指しています。しかし、これまでの2人のスタッフには高校での指導経験がありません。資料をもとに相談を進めてきましたが、高校現場の実態については十分に伝えることができていませんでした。そこで、

もう一つは、お盆の夏季一斉休業8/14日(水)～16日(金)の3日間に相談室を開室したことです。大学の一斉休業ですが、教員採用試験合格を目指している学生にとっては大切な3日間です。岡山県・市の教員採用2次試験が17日(土)から始まるなど、2次試験がこの時期に設定されている都道府県が多いからです。これまで、この時期に学生が集まって勉強する場所がなかったようです。今年は、相談室と同時に、同じ階にある3つの教室を開けていただきました。その結果、3日間で延べ228人の学生が相談室及び教室を活用しました。小林先生が加わって3人体制を取ることもでき、学生は集団討論や模擬授業などを十分に体験することができました。

実施に向けて協力して下さった方々に心から感謝申し上げます。 【文責：武藤幹夫】



教員採用試験のツボ

幼稚園コースの皆さんはこれから採用試験を受けられますが、それ以外の4年次生の方はすでに終わられている方が多いと思います。そこで、来年度教員採用試験を受けられる3年次生の皆さんに向けて書かせていただきます。

これから主免の教育実習が始まりますね。とにかく今は教育実習に集中してください。そして、教育実習をしっかりと楽し

その五「実習が終わったら教職相談室」

てください。子供とのかかわりをたっぷり楽しんでください。しかしそれと同時に、教師という仕事の大変さや子供を指導することの難しさを実感するのも教育実習です。「教師という仕事は楽な仕事ではないけれど、子供と一緒にいるのは楽しいな」と思える教育実習にして欲しいと思います。そのためには、子供とできるだけ共に行動し、子供が日々の暮らしの中で感じて

いる喜怒哀楽をあなた自身も共感できるように努めてください。そして、教育実習が終わったら、できるだけ早く教職相談室に来ましょう。このことがとても大切なことです。早い時期から教職相談室に来た人ほど教採の合格率が高くなるという結果が出ています。教育実習のホットな感想を持って、教職相談室のドアをノックしてください。 【文責：小川潔】